

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立緑小学校] 担当教諭名[海道 朋美] (5年生 130名)
 交流相手国[ウガンダ]
 海外学校名[Greenhill Academy] 担当教諭名[Ssonko John Bosco]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界を知り、日本に生きる自分の生き方を考えよう	6
	英語	自己紹介しよう	1

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	将来の夢
絵に込めたメッセージ	今、これからを生きる自分たちの夢や願いを描くことで、自分だけでなく、また自分の国だけでなく、世界中の子どもたちの夢や願いを知り、世界を意識できる視野で物事を考えていけることを願って、絵を考える。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子どもたちの視野が広がったこと。日本の自分たちの学校だけの視野から、世界のおなじ11才を意識できるようになったこと。また、絵で通じ合えたことや、国が違っても1つの作品を協働で完成させることができるうれしさを知ったこと。	自己紹介はもちろん絵の制作過程などの交流ができるとよかった。自校が作業していない時にも、協働作業が進んでいるようなつながりづくりができるとよかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
学年通信で学習のねらいや経過報告をしたり、授業参加など、絵を掲示しました。	教科書だけでなく、世界と触れる学習活動に共感を頂きました。絵の構図を考える時に、アイディア頂くなど一緒に考えて下さる保護者もいました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月 9月	「100人の村ワークショップ」を体験する。 学年集会で学習のねらいと見通しをつかみ、実行委員を決定する。	「100人村のワークショップ」によって世界への興味関心が広がった。先進国と途上国の違いなど、今後の交流への意欲が高まる。	総合2
情報収集	10月	英語で学習した「自己紹介」を生かして、相手校への自己紹介カードを仕上げ、プレゼントを考えて、郵送する。	相手校への自己紹介カードづくりは、丁寧に仕上げていた。またプレゼントには、子どもらしく、日本の子どもに人気のお菓子を選んでいった。	英語1 総合1
テーマ検討	11月	相手校とはメールでテーマを提案する。 校内では、数人の下書き制作者が絵に込めた思いを学年集会でプレゼンし、日本側の下絵を決定する。	自分たちの将来の夢と、日本らしさを描いた下絵が数点集まった。保護者も協力して下絵を仕上げる様子も見られた。それぞれの良さを認めながら、より伝えたいことが伝わる絵を全員で選んでいた。	総合1
制作	12月	グループごとに絵を分担し、制作を完成させる。完成した絵を授業参観で展示する。	お互いが活躍できる役割分担などを考えて制作する。色使いなどでトラブルもあったが、それも含めて協働する力づくりにつながった。	総合1
鑑賞	3月	共同制作した絵の鑑賞を学年集会でやる。	完成した絵を見て、その迫力を感じていた。「ウガンダに行ってみよう」と話すなど、相手への興味関心を深める。	総合1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	絵を考える場面やウガンダの絵との比較場面。日本的なものを意識して考えていた。
異文化の理解	A	4	完成した絵や送られてきた写真を見る場面。「何だろう?」と考えながら、日本との違いを見つけていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	相手からの反応を受けた場面。英語で学習したことを、実際に活用して自己紹介カードを書き、それへの反応を受けて喜ぶ。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	あまり相手国のことを調べ、交流活動を行わなかったため、子どもの姿に現れなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	2	継続した交流ができなかったため、相手校の生徒のことをあまり口にすることがなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	自己紹介カードや絵の制作場面。自己紹介の内容を考えたり、絵の制作分担などの中で協力する様子があった。
学習を追究する意欲	B	2	国際交流について、日常の中で話題になることが少なかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	テーマと絵の構図を考える場面。いくつかの下絵から1つを選ぶ時に「日本に生きる自分たちの夢」を伝える絵を真剣に考える。
作品を鑑賞する力	B	3	それぞれが感じたことを話したり、書いたりしていた。鑑賞する力としては評価しにくかった。